

1429 3/6

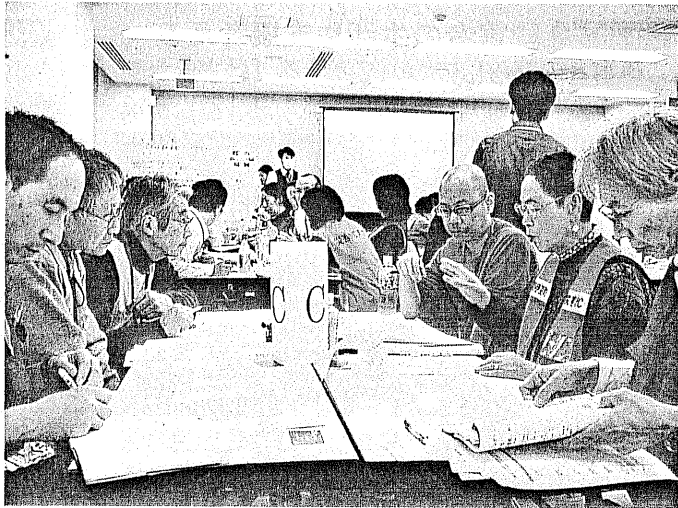
平時のつながり構築へ

静岡

県ボラ協 災害想定、図上訓練

「災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」（県や県ボランティア協会など主催）が4、5の両日、静岡市葵区の静岡労働会館で開かれた。県内外の約330人が大規模災害時のボランティア活動を見据え、県域、業種を越えたネットワーク構築を目指した。

（社会部・菊地真生）



参加団体は5人ほど

のチームに分かれ、これまでの訓練で立案した災害時に備えた平時のつながり構築を目指す防災プログラムの実践事例を報告し合った。市町別に災害時を想定したワークショップを行い、市町だけで対応できない被災者のニーズを話し合うなど

各地域の防災プログラムの実践事例を報告し合う参加者14日、静岡市葵区の静岡労働会館

した。

ワークショップでは「観光客や外国人をどう受け入れるか」「行政との情報共有ができるか」など各市町からさまざまな課題が上がった。

課題を踏まえ、災害時に情報収集や県内外の支援団体と市町の調整役を担う防災ボランティア本部と市町支援チームが、参加者を前に意見交換した。